

歌舞伎



「歌舞伎」(かぶき)とは？

江戸時代(1603-1867)に始まり発展した日本固有の演劇で、歌(音楽)・舞(踊り)・伎(演技)からなる伝統芸能の一つです。日本の重要無形文化財であり、2009年にはユネスコの無形文化遺産の一覧表に記載されました。



始まりは？

1603年、出雲の巫女だった阿国が京都で念仏踊りを興行し「歌舞伎踊り」と呼ばれたのが初めとされています。当時の、世の中に反発する「かぶき者」の派手で斬新な衣装で踊り、大衆に人気を博しました。しかし、やがて女性の歌舞伎は風紀を乱すと禁止され、以後は男性のみで演じられるようになりました。現在も歌舞伎役者はすべて男性で、女性の役は「女形」または「おやま」とよべれます。



上演される劇場は？

歌舞伎が年中演じられる劇場は東京の歌舞伎座ですが、他にもかなり頻繁に上演される劇場として、関西では大阪松竹座、京都南座、福岡博多座などがあり、四国には江戸時代の芝居小屋を復元した金丸座があります。



「花道」と「掛け声」・「屋号」

歌舞伎の舞台の特徴的要素として「花道」と呼ばれる客席の中にのびる通路があり、ここを歩いて役者は客に強烈な印象を残しながら入退場します。

主な役者が「花道」を歩いて登場し派手なポーズをとると、歌舞伎に詳しい客の中から「〇〇屋」という掛け声が飛びます。たとえば市川海老蔵は「成田屋」と掛け声をかけられ、これは、市川家が江戸時代から代々引き継いでいる「屋号」とよばれるものです。



三種類の歌舞伎

歌舞伎は人形浄瑠璃や舞踊との関わりから大きく3つに分類することができます。

1. 本丸物：人形浄瑠璃の台本をアレンジした「仮名手本忠臣蔵」「義経千本桜」など
2. 純歌舞伎：歌舞伎のために書かれた「鳴神」「東海道四谷怪談」など
3. 所作事：舞踊劇のことで、「娘道成寺」「連獅子」などがあります。



歌舞伎の未来は？

歌舞伎は人形浄瑠璃と共に約400年前の日本人の心をとらえました。現在では歌舞伎役者が映画やテレビドラマにも出演して、さらに注目を集めています。また、海外公演で外国の人々にも感動を与えています。これからも歌舞伎は、ますます多くの人々を魅了するでしょう。

参考資料

Wikipedia 歌舞伎

「面白いほどよくわかる歌舞伎」宗方翔 日本文芸社

「英語で紹介 ニッポンおもしろ再発見」中山幸男 三修社

「日本文化を英語で紹介する事典」杉浦洋一＋John K. Gillespie 共著 ナツメ社

「日本まるごと事典」International Internship Programs 講談社インターナショナル